

川崎区の役立つ福祉情報をお届け

# ウェブ

## 第119号 令和6年9月

## ●川崎区社会福祉協議会

## 発行

川崎区社会福祉協議会  
川崎区富士見1-6-3読売川崎富士見ビル B-1 棟 6階  
電話 044-246-5500 FAX 044-211-8741  
Email [kawasakiku@csww-kawasaki.or.jp](mailto:kawasakiku@csww-kawasaki.or.jp)  
川崎区社協ホームページ <https://www.kawasakiku-shakyo.jp/>

## 区社協



〔発行人〕  
島田 潤二  
〔編集人〕  
編集委員会

## 目次

1. 令和6年度川崎区社協福祉まつり開催について
2. 年末たすけあい運動「支援金」申請のお知らせ
3. 令和6年度共同募金について
4. 地区社協のトピックス  
・大島地区社会福祉協議会  
・中央第一地区社会福祉協議会
5. 川崎区社会福祉協議会  
令和5年度事業報告・決算報告
6. ウェーブくんが行く！  
身近な地域の障がい者施設・団体
7. 子どもの食糧支援について  
福祉用具リサイクル  
「譲ります・譲ってください」  
ほほえみコーナー
8. 川崎区ボランティア情報紙「いっぽ」

紙面に関する  
お問合せはこちらまで



# 令和6年度 川崎区社協福祉まつりを開催します！

川崎区内で福祉・社会貢献活動に携わるボランティア・当事者・社会福祉施設・企業等を一堂に会し、お互いの協力のもと、区民との交流を通じた福祉啓発・意識の高揚、より身近なテーマとして多くの方に福祉を身近に感じていただくことを目的に「川崎区社協福祉まつり」を開催します。

昨年度は4年ぶりの開催となり、多くの方にご来場いただきました。今年度はさらに多くの方にご来場いただき、来場された皆様に福祉を身近に感じ、楽しんでいただくため、準備を進めています。昨年度は、「いろいろな体験ができてとても面白かった」、「初めて参加しましたが、各フロアをまわってさまざまな活動を見ることができてよかった」などの感想をいただきました。

今後、区社協のホームページなどで広報をしていく予定です。当日のご来場お待ちしております！

## ▼昨年度開催時の写真



開催日 令和6年11月16日(土)

時 間 午前10時～午後3時

会 場 川崎市教育文化会館

住 所 川崎市川崎区富士見2丁目1-3

電話番号 044-233-6361

バス 「カルッツかわさき・富士見公園」バス停下車 川崎市バス：川 04、05、07、10、13、15、17、73  
川崎鶴見臨港バス：川 02、03、12

## (1) 開会式

## (2) I (あい) I (あい) イベント

- ・かわさきマルシェ (福祉作業所の自主製品販売・社会貢献企業の出展等)
- ・ふれあい横丁 (福祉活動紹介、PRパネル展示、福祉体験、作品作り、福祉相談等)
- ・主催者企画 (作ってあそぼうコーナー、ホットとする喫茶他)

## (3) 社会福祉大会 (表彰状・感謝状の贈呈、来賓祝辞)

主催：川崎市川崎区社会福祉協議会／川崎区社協福祉まつり実行委員会  
問い合わせ：【TEL】044-246-5500 【メール】[kawasakiku@csww-kawasaki.or.jp](mailto:kawasakiku@csww-kawasaki.or.jp)

つながり ささえあう  
みんなの地域づくり

# 年末たすけあい運動「支援金」申請のお知らせ

共同募金運動の一環として、毎年12月1日から31日まで地域の皆様にご協力をいただいております。年末たすけあい運動において、募金の有効活用を考慮し、川崎区社会福祉協議会では配分された募金を基に地域で福祉ニーズを持つ世帯へ「支援金」として配布いたします。

希望される方は、以下の内容をご確認の上、所定の申請書にてお申込ください。

なお、支援金の金額については、募金の実績額と申請世帯数を勘案し決定となるため、申請時には決定していませんのでご了承ください。

## 支援金対象世帯

川崎区内において在宅で生活をされており、次の項目に該当する方がいる**世帯**（項目に該当する書類を添えて提出）

- A 9月1日現在、ひとり親世帯で児童扶養手当を受けている方**  
添付：7月か9月の手当が振り込まれた部分と名義部分の通帳のコピー
- Bア 9月1日現在、身体障害者手帳1・2級の方**  
添付：身体障害者手帳のコピー ※氏名、等級、障害名が記載された部分
- Bイ 9月1日現在、療育手帳Aの交付を受けている方**  
添付：療育手帳のコピー ※名前、判定の箇所が記載された部分
- Bウ 9月1日現在、精神障害者保健福祉手帳1級の交付を受けている方**  
添付：精神障害者保健福祉手帳のコピー
- C 9月1日現在、介護認定が要介護4または5の方**  
添付：介護保険証のコピー
- D 9月1日現在、災害遺児等福祉手当を受けている方**  
添付：9月の手当が振り込まれた部分と名義部分の通帳のコピー
- E 9月1日現在、公害病認定患者の方**  
添付：公害医療手帳のコピー

注1：生活保護受給世帯は申請できません。

注2：対象者ご本人が在宅で生活されていることが必要です。施設・グループホーム等で生活されている方や長期入院されている方は対象外となります。

注3：配分は世帯単位です。（複数対象者がいる場合でも1世帯分の配分となります）

## 期間・方法

### ▼申請期間

令和6年9月2日(月)から  
10月31日(木) **【必着】**まで

### ▼方法

申請書に必要事項をご記入の上、添付書類とあわせて川崎区社会福祉協議会に直接来所または郵送にてご提出ください。

## 申請書設置場所

川崎区社会福祉協議会、区内老人いこいの家、かわさき老人福祉・地域交流センター、川崎区役所、大師支所、田島支所等にてお配りします。また、HPよりダウンロードも出来ますのでご利用ください。

## 提出・お問合せ先

### 川崎市川崎区社会福祉協議会

〒210-0011 川崎区富士見 1-6-3  
読売川崎富士見ビル B-1 棟6階  
TEL 044-246-5500  
FAX 044-211-8741

## 支援金の金額の目安について

支援金額は、今年度にご協力いただいた募金額によって変わります。  
昨年度は、**1世帯当たり5,000円**をお届けいたしました。

### 申請から交付までの流れ

#### ① 8月下旬

申請書受取



#### ② 9月2日～10月31日

申請書に必要事項を記入。添付書類と共に川崎区社協へ来所または郵送にて提出。



#### ③ 12月下旬

民生委員児童委員のご協力をいただき、対象世帯へお届けします。



### 個人情報の保護について

この申請書で得た個人情報につきましては、支援金交付以外の目的に使用することはありません。また、支援金を交付する担当地区の民生委員児童委員以外の第三者にも、ご本人の同意無しに個人情報の提供はいたしません。



あなたの募金でささえあいのまちづくり 共同募金運動2024《10月1日～3月31日》



# 「自分のまちをよくするしくみ」 共同募金が始まります。



毎年、共同募金運動にご協力いただき誠にありがとうございます。皆様からの温かい想いに心から感謝申し上げます。いただいたご寄付により、様々な地域活動を進めることができました。

今年も10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まります。今年のテーマは「つながりをたやさない社会づくり」です。このテーマは、私たち一人ひとりが互いに支え合い、つながり合うことで、より強い社会を築いていくということを表しています。

共同募金は、ご協力いただいた方々の想いを受継ぎ、より良い地域を築くための重要なツールです。ぜひ、今年もご支援をお願い申し上げます。

ご寄付の方法や詳細については、10月1日以降、ウェブサイト等にてご案内いたします。

## 共同募金のしくみ

### 戸別募金



### 街頭募金



### ネット募金



### 職域募金



### その他募金



### イベント募金



など

全額送金  
川崎区支会で取りまとめて

神奈川共同募金会

- ・神奈川県内の福祉施設・団体へ
- ・被災者支援活動へ
- ・川崎区社会福祉協議会を通じて地域福祉活動事業へ

## 募金の活用例

### 福祉施設・団体、被災者支援

福祉施設の施設整備費、在宅福祉サービス事業、福祉サービス事業、福祉車両の購入 など

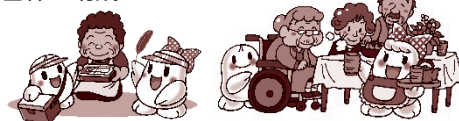


国内で大規模災害が発生した場合に、被災者支援活動にも使われています。



### 川崎区内の地域福祉活動事業

区内でふれあい活動を実施している団体に助成



区内で自主活動をしている障害児等の当事者やその支援グループ・団体、また社会福祉領域を対象としたボランティアグループへの助成



車いす等福祉用具の貸出を行い、学校等地域での福祉教育や緊急かつ一時的な福祉ニーズへの対応



子育てグッズ貸出



### バッジ等による募金

野毛山動物園や川崎フロンターレと協働してオリジナルピンバッジ(募金額500円)を作成しています。(※数に限りがございます)



<問合せ>

神奈川県共同募金会川崎市川崎区支会  
(川崎区社会福祉協議会内)

TEL 044-246-5500 / FAX 044-211-8741

# 地区社協のトピックス



## 地区社会福祉協議会とは？

地域の福祉課題の解決に向け、地域住民全員が福祉の担い手となり、住民同士がお互いに支え合うことを目的とした任意団体です。

### 大島地区社会福祉協議会 「地域福祉講演会」

大島地区社会福祉協議会では、地域の方の関心ごとについて学び、また、地域福祉の取り組みを充実させるための知識を得ることを目的として、地域福祉講演会を開催しています。

令和5年12月に開催した講演会は2部構成で、1部では「带状疱疹の予防、対応について」2部では「子どもの食糧支援について」の講演をしていただきました。

会場である町内会館の椅子は全て埋まり、35名の地域の方にご参加いただきました。

講演中の带状疱疹のワクチンが2種類あるというお話では、それぞれのワクチンの特性や値段についての説明を聞きながら、どちらのワクチンを受けるべきか、参加者の方が真剣に考え大きく頷く姿も見られました。それぞれの講演後に行われた質疑応答では、多くの質問が飛び交い予定時間を延長して行われ、講師の方とのやり取りの中でさらに知識が深まる時間となったのではないかと思います。

今後も、地域の皆様のご興味に沿った講演会を開催していければと思いますので、これからも引き続き皆様のご参加をお待ちしております。



大島地域福祉講演会の様子

### 中央第一地区社会福祉協議会 「元気に歩こう会」

去る3月23日(土)、中央第一地区社会福祉協議会では「元気に歩こう会」を開催いたしました。コロナ禍でしばらく中断していましたが久しぶりの開催となりました。

目的地は横浜みなとみらい地区にある「帆船日本丸」です。

あいにく小雨交じりの天気でしたが各町内会から合わせて90名が参加し、その内65歳以上は79名にもなりました。川崎駅に集合し桜木町駅までJRで移動、駅から徒歩で「日本丸」に向かいます。

「日本丸」は昭和5年に造られた航海練習船でその美しい姿から「太平洋の白鳥」や「海の貴婦人」などと呼ばれていました。昭和59年に引退し、現在のドックにて展示公開されています。国の重要文化財にもなっています。

乗船後船内を案内コースに沿って船長室、実習室などを見学しましたがどの部屋も狭いことに皆驚き、また実習生の航海での厳しい訓練をしのんでいました。

最後の上層甲板に出るまでの見学時間は約40分、当日帆は張られていませんでしたが水面から46メートルにもなる高いマストを小雨の中皆見上げていました。

川崎からは近い所ですが初めて来た方も大勢いて有意義な時間を過ごしました。

見学後は自由行動となり、各自中華街での食事や山下公園の散策などを楽しみました。



帆船日本丸の前で記念撮影の様子

# 川崎市社会福祉協議会 令和5年度事業報告・決算報告

## 重点事業

### 1 地区社協活動の支援・援助

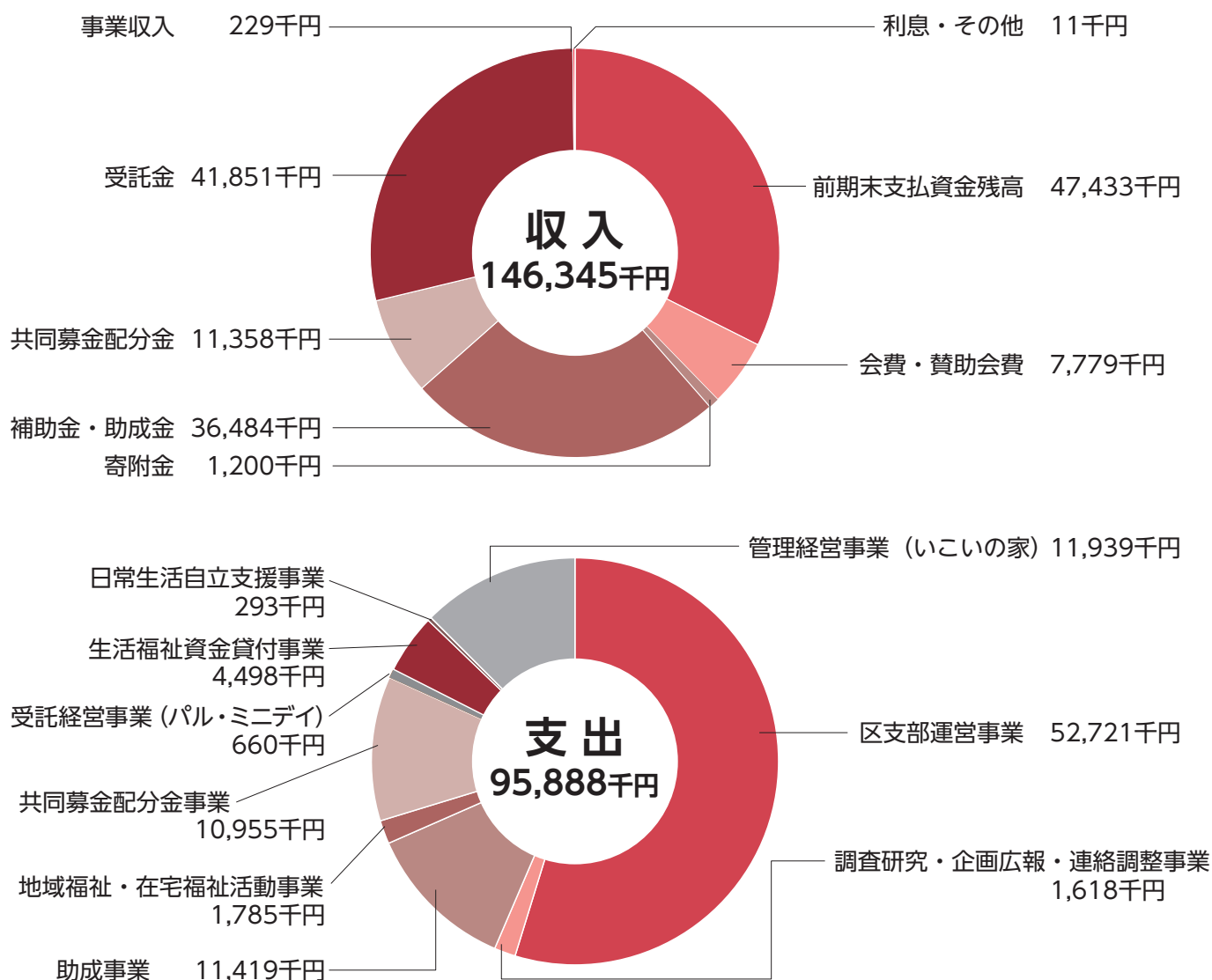
地域支え合い活動助成金を交付し、地区社会福祉協議会の活動を支援しました。地区社協が主体となり、地域福祉懇談会、テーマ別の研修会、見守り活動、認知症予防を目的としたサロンなど、地区ごとに独自性のある事業が展開されました。

### 2 総合相談支援事業

生活相談等、年間を通じて1,428件の相談を受け、様々な関係機関と連携しながら、必要な情報提供、適切な機関へつなぐ等の支援を行いました。

### 3 災害支援の取組み

川崎市総合防災訓練（2月4日）に参加し、災害ボランティアセンターの運営訓練を行うとともに、運営方法を確認しました。災害時のボランティア活動に関するパネルの展示、チラシ・啓発グッズの配布を通じて、災害ボランティアセンターの働きについて広く周知するとともに災害時のボランティア活動についての理解を深めていただきました。





# 第3回 ウェブくんが 行く

## 身近な地域の障がい者施設・団体

川崎区内の障がい者施設・団体による活動を皆様にお伝えすべく、今回も取材へ行ってきました！

第3回目は「地域活動支援センター もくれん工房」です！

今回の取材は編集委員1名、事務局1名で行いました！



### 「NPO法人 地域活動支援センター もくれん工房」について



- 代 表：中山 英也
- 設 立：2008年3月18日
- 利用者：11名（水曜日は5～6名ほど別の施設から来所され、昼食を一緒に食べます。）  
身体・知的・精神など様々な障害を抱えた人が通所しています。
- 職 員：3名

#### 活動内容

##### ・黒板消しストラップの製作

スポンジに布を巻く工程、グルーガンでプラスチックと固定する工程などがあります。完成までに細かな作業が多いため、繊細さが求められる部分が多いです。

##### ・シャーボ作成と袋詰め

シャープペンとボールペンが一体化したペンであるシャーボの組み立てと袋詰めを行います。



スポンジに布を巻く工程  
正確な位置で巻く必要があります



シャーボの袋詰め工程  
シャーボは1週間で4000本～5000本出荷しているそうです

## もくれん工房ってどんな場所？

もくれん工房は地域活動支援センターとして、家にこもりきりになっている障がいのある方が外出するきっかけになればという思いから、希望があれば誰でも受け入れています。施設の作業や地域の行事・イベントを通して「明日も行きたい」と思ってもらえる場所をめざしています。

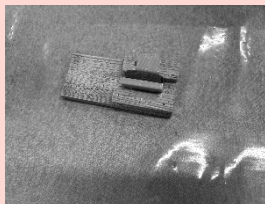
地域活動支援センターは、企業から委託を受けた生産活動は行っていますが、効率よりも、利用者同士で交流しながら作業できるような空間を心がけています。また、障がいによって作業が難しい場合は道具を使い、作業をその人にあわせる工夫もしています。

ここでの活動を通して、もっと仕事にチャレンジしたいと思った場合は、就労継続支援B型の作業所への移行支援も行います。

もくれん工房での経験を通し、できなかったなどのネガティブな感情ではなく、できるようになることの嬉しさや、できた時の達成感などのポジティブな感情を持ってもらいたいと考え、そのために様々な作業に挑戦できるような場所を作っていきたいです。



布を中心に巻きやすくするための補助具  
誰でも使えるようになっています



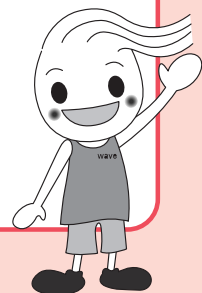
黒板消しを固定する補助具  
黒板消しの側面に片手で釘を打つことができます

#### 取材後記

利用者様が楽しそうに過ごしている姿が印象的でした。

もくれん工房での交流を通して、利用者様同士でも休日に集まって遊ぶことがあるとの話を伺い、利用者様にとって友好関係を築き、楽しく過ごせる場所だと感じました。

今回、取材を通してどのような方でも受け入れ、地域で生活する一歩として手助けをしているもくれん工房は利用者様にとって交流の場であり、外に出る1歩として大切な場所であると感じました。



取材先 地域活動支援センター もくれん工房  
所在地：川崎区田島町2番12号  
Tel/Fax：044-355-6123

# 子どもの食糧支援 食糧でつながるか輪さき区



お問い合わせ  
川崎市川崎区社会福祉協議会  
TEL:044-246-5500



川崎区社会福祉協議会では、令和6年度も引き続き、たじま家庭支援センターやふれあい館、行政などの関係機関と連携し、食事をとれているかが気になりなご家庭のお子さん等に対して、食糧支援を行っています。

また、食を通じた子どもたちとの出会い・交流を目的に食糧の配付活動「みんなのごはん」や「おにぎりキャラバン」を行っています。令和5年度は合計40回ほど開催することができました。どちらも地域の子どもが誰でも参加ができるイベントとなっています。

小中学校の長期休み前にあわせた「みんなのごはん」では、お米やレトルト食品、お菓子などを合わせた「もぐもぐセット」を配付しています。今回は地域の方々によるかき氷のふるまいや、ゲームなどの交流があり、和やかな時間を過ごしました。

「おにぎりキャラバン」では、子どもたち自身が地域の大人から教わりながらお米を炊くところから始めて、おにぎりを握ります。子どもたち自身の生活力の向上が目に見えてわかります。

8月7日のおにぎりキャラバンはチャレボラ2024(8面参照)で学生が参加し、小中学生に教える様子がとても和気あいあいとしていて、おなかもいっぱいになりました。

この取組が川崎区内で広がっていくことで、地域の大人と子どもたちの関係性が深まっていくと、つながりある地域づくりの第一歩になると考えます。



おにぎりキャラバンの様子



みんなのごはんの様子

## 食糧のご寄付をお願いします

この取組を続けていくために、食糧のご寄付をお願いします。

新しくご購入いただくもの、またはご家庭にある“買い過ぎてしまった”もの、頂き物で“食べきれない”ものなどの寄付を募集しています。

皆様からの温かいご寄付をよろしくお願いいたします。



### ● 注意点

- ・未開封のもので、消費期限が**1か月半以上**残っている物をお願いいたします。
- ・冷蔵・冷凍保存が難しいため、**生鮮食品はお控えください。**

### お知らせ

(福祉用具リサイクル事業)

## 譲ります・譲ってください



浴槽手すり (A-124)



浴室用段差 (A-125)

川崎区内にお住まいの方々を対象に、車いす、シルバーカー(手押し車)、介護用ベッド、歩行器等の福祉用具を譲りたい方と譲って欲しい方との間で、無料でご紹介しています。

現在、譲りたい方から浴槽手すり1つ、浴室用段差1つ、浴室用マット1つ、シャワーチェア1つ、折りたたみ杖1本の登録がごさいます。

本会ホームページに掲載する福祉用具を募集しています。福祉用具を譲りたい、譲ってほしいかたは川崎区社会福祉協議会まで、ご連絡下さい。

※リサイクルできるものは安全かつ衛生上問題なく、修理を必要としないものに限りです。

※寄付物はお預かりしておりません。

## ほほえみ コーナー

ご寄付をいただきました。  
誠にありがとうございます。

JFEスチール京浜労働組合 様





誰もが皆、誰かの力になれる。「はじめよう！ボランティア！」

いっぽ

ウェブと合併  
第1号

川崎区ボランティアセンター情報紙

川崎市川崎区社会福祉協議会  
ボランティアセンター

社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを地域のみならずと共々協力しあい、推進していく民間の団体です。

ボランティアセンターでは、ボランティアをしたい人と、してほしい人をつなぐはたらきをもち、幅広い理解を進めるためイベントや講座を開催するなど、地域でのボランティア活動の推進に努めています。

TEL: 044-246-5500

## ～「いっぽ」ってなあに？～

川崎区ボランティアセンターの紹介や募集したボランティアについて掲載しているボランティア情報紙です。

平成14年2月1日に発行し、「川崎区内のボランティア活動についてもっと知って頂きたい！」との思いから、この度ウェブと合併しました。

チャレボラ2024  
開催しました!!

今年度も多くの関係機関と参加者様のご協力によりチャレボラ2024を開催しました。

川崎区内では9つのプログラムを企画し、その中の1つとして「広げよう認知症サポーターの輪◎特別養護老人ホームでのボランティア体験」は12人の方にご参加いただきました。

当日は認知症キッズサポーター養成講座やデイサービスでの高齢者との交流を行い、楽しみながら充実した時間を過ごすことができました。

参加者様の意見として「普段関わらない人と関わって、お話などもできたのですごく楽しかった」や「お年寄りの方との関わりが深まるし、勉強が出来るためまた参加したいです」などのコメントをいただきました。

ご協力いただきました関係機関の皆様、参加者の皆様、誠にありがとうございました。

※チャレボラとは…夏休み期間中に学生を対象として開催している「夏休み福祉・チャレンジボランティア体験学習」を略したもの。川崎市内全区で企画した様々なプログラムの中から参加したいプログラムを選び、ボランティア体験を行います。



## 語り手募集中!

## かわさき聞き書き隊!

**対象** ご高齢の方、福祉施設利用者など**内容** お年寄りの昔のお話を伺い、それを文章にしてお渡しする活動です。聞き書きに伺える施設、聞き書きをしてほしい方を募集しております。

◎あなたの思い出、長い人生の中で楽しかったこと、うれしかったこと、伝えたい知恵、言葉を聞かせて下さい。

☆活動にご興味のある方は、ボランティア担当(044-246-5500)までお問い合わせください。

## ボランティア募集中!

認知症カフェの運営補助ボランティア募集

**住所** 〒210-0023  
川崎区小川町10-10  
特別養護老人ホーム 恒春園内**TEL** 044-211-6313**日程** 毎月第4火曜日 13時～15時**開催場所** 川崎ラシクル内**内容** カフェで行うイベントの司会等運営の補助

☆活動に興味のある方は、ボランティア担当(044-246-5500)までお問い合わせください。

## 傾聴カフェ 開催中!

傾聴ボランティア「やすらぎ」が運営する傾聴カフェが開催中! 皆さんで楽しくお話してみませんか?

**開催日** 11月、1月を除く第3金曜日**会場** 教育文化会館**申込み** 不要(直接、教育文化会館にお越しください)**参加費** 100円(運営費として頂戴させていただきます)**問合せ** 044-233-6361(教育文化会館)

## ボランティア情報

## 募集中!

広報紙に掲載していただけるボランティア情報を随時募集中です。

次回、1月号に掲載可能なボランティア情報がございましたら担当までご連絡ください。

TEL: 044-246-5500

Mail: kawasakiku@csww-kawasaki.or.jp